

## 平成29年度 町政懇談会 立山地区

### I. 日時・場所等

1. 開催日時 平成29年7月25日(火) 午後7時～午後8時30分
2. 開催場所 岩嶺公民館2階ホール
3. 出席者 立山町 舟橋町長、朝倉副町長、大岩教育長、山元総務課長、  
舟橋農林課長、竹島建設課長、  
山本水道課長、尾近建設課長補佐、  
地元議員 後藤智文議員  
立山地区区長会 村田寛人会長  
企画政策課 清水課長、寺崎課長補佐、佐伯主事、大前主事
4. 参加者数 38名

### II. 実施内容

#### 1. 挨拶

- ①司会 清水企画政策課長(以下、司会) 開会
- ②舟橋町長(以下、町長) 開会挨拶
- ③司会 出席者紹介

#### 2. 懇談会

- (1) 立山町公共施設等マネジメント計画 企画政策課長  
富山連携中枢都市圏 企画政策課長  
下水道整備事業 水道課長
- (2) 地区からの協議事項
  - ◎ 下田バイパスのアクセス改善について
  - ◎ 生活用水の重要性について
  - ◎ 岩嶺寺駅改修について
- (3) 質疑・応答

◎ 公民館の横に児童公園の土の入れ替え等はどうな計画で進んでいるのか。高校や中学校のグラウンドと同等土の入れ替えをしていただきたい。昔はゲートボールができたそうです。管理については岩嶺寺と宮路の高齢者の方もたくさんいらっしゃいますので、そういう方にボランティアということで協力を仰いでやっていただきたいと思っております。これは私案で敬老会の方に話しをしたとかそういうことではございません。

#### 【尾近建設課長補佐】

岩嶺寺児童公園は公民館の隣にあり、建設課で管理をしております。28年度に排水

管の工事を行い完了したところです。年数が経ち、水はけがとても悪く、水たまりも多くありましたので、公園の下の方にパイプを設置しまして、水をそちらのほうに誘導する工事を28年度に行いました。継続工事として29年度に、表土の入れ替えを予定しております。具体的な厚さにつきましては5～10 cm程度と思っており、工事発注に向け最終精査をしております。工事が終わった後の維持管理につきましても、地区の皆様が楽しく色々な競技、行事等で使っていただけるよう、町と地元の皆様とで管理内容を詰めていきたいと思っております。

◎ 今月末にクロスカントリーコース出来上がるが、地元住民にまだ1回も説明会がない。使用の目的や方法、いつ誰がどのように使用するのか、またその維持管理はどうなっているのか教えてください。

【竹島建設課長】

クロスカントリーコースは5月末ごろから現地の方で工事しておりますけれども、工事に入る際に当然区長さんの方にお話ししたわけですが、地元の皆さんを対象に説明会を開催しておりませんでした。その辺の周知が行き届いておりませんで申し訳ございませんでした。

【町長】

公共事業をやる時、本来は区長さんと建設業者さんと相談して、地域住民の説明会をするかどうか話し合いをしますが、どういう経緯になったのかちょっとわかりませんが、本当に申し訳ありませんでした。そもそも私の発案です。何かの事業を活用して、特にどんどん祭りの時の駐車場確保を国の事業でやれないかという思いがあったところに、新瀬戸小学校でランチルームを作り、大学合宿の誘致という話もありまして、国の方に提案したら、実質町の負担は1/4で工事が出来るということになったので、クロスカントリーコースをやろうとなりました。アスファルトの上でなくてウッドチップコースで練習するのはいいというのを、この間の雄山中学校の全国大会の応援に行って本当に実感しました。長らく雄山中学校の男女を指導してもらっている中野先生に監修をしていただいて、間もなく完成検査となろうと思っております。陸上はすべてのスポーツの上で1番大事なところだと思いますので、特に雄山中学校の陸上部に利用していただいて、全国大会で活躍してほしい。あとは、富商の先生が噂を聞いて、練習させてほしいという話が出てきたということでもあります。グリーンパーク吉峰の営業上も良かったと。富山第一高校のサッカー部は、森林公園の中のアスファルトの坂道のところを練習に使っていると聞いたりします。そういう意味ではアスファルトよりもウッドチップコースがいいのかなと思っております。ただ管理が大変になってくると思いますので今後のことですが、シーズンの途中ですから今年1年間は無料にしようという指示をしております。ただし、やっぱり管理費用かかってくるので、地元の小学生からお金をとるつもりはありませんけれども、町外の人たちからは多少もらってもいいのではないかと、そういった研究を建設課長にしてくれと指示してあ

ります。有料施設となると条例の問題も出てきますので、3月までにしっかりと研究をしてそれなりの対応していきたいと思えます。

◎ 工業団地の造成についてお尋ねします。私たち山間地のコメ作りをしているものからしますと、猫の額ほどの狭い小さい田んぼが沢山あり、段差もあり、非常に米づくりが大変である。工業団地の造成は利田地区ばかり集中している。商業施設は山間地は無理かもしれませんが、立山地区は沢山耕作放棄田があり、地面代も安いと思う。そういったところに人の働く場、工業団地を作っていただく予定はないでしょうか。

【町長】

利田の方で進めているのは、基本的にお客様の企業からここで工場を建てたいという要望を受けてから用地交渉をして造成して売り渡すというやり方をしていません。町として企業団地を造ったのは、知り得る限りはコーセルの一带と思えます。釜ヶ淵と下段のあいだのところ、当時は、農業工業導入促進法、農家の雇用確保のためという名目で優良農地を宅地とすることができました。職員数人でチーム作って、あれだけのものを成し遂げたといった経緯があります。それで私どもは今、立山インター周辺はどうかと、ここ数年来企業の方にご案内をしておりますし、あの地域の野町や沢端集落からもまとめて20ヘクタールぐらいどうかというお声もありますが、なかなかうまくいきません。何故利田ばかりになるかというと純粋に富山に近いだけです。町長になったときに、コーセルさんに挨拶に行ったら、あそこに来て失敗したといわれました。本社も全部移すつもりでいて、あれだけの用地を確保したと、ところが場所が悪いせいか人が集まらんと。今年またあいさつに行きましたら開発部門の人間も富山に戻すと言われました。つまり大学卒の技術系の人間を、地方のところになかなか誘い辛いと、致し方が無いので今の赤江の場所ほんとの狭いところですが、また新しい建物もあの敷地内で建てておられる状況であります。中越合金のあのあたりは、藤の木に近いということで雇用を確保しやすいからということになります。最近企業の方に言われることで、もう1つは、立山製薬工場にまとめて何ヘクタールと買ってもらって、もう造成して渡して、うちは売ったからもう良いのですけれども、第3期、第4期の工場が建ちません。なぜかと言ったら人が集まらないからです。企業誘致すれば財政が豊かになると思っただけから進めたいと思うのですが、企業の方は地方に来ると人が集まらなくなってきて、二の足を踏むという状況になっていました。

元に戻りますが、横江の方は、言われた通り多分土地は安いと思えますけれども、土地の値段はあまり気にされません。富山市内は工場団地ができる場所がまったくない。西インターの整備を進めるということで富山市さんはやっていますがまだ日がかかる。ユニーの地面をNICオートテックが買われましたが、それなりの値段だったと思えます。土地の値段はあまり気にされなくて、雇用の確保のためとなる

と必然とあの場所になると。僕が利田にいるからじゃなくて、本当にお客さんの都合でこうなっています。出来れば立山インター周辺がもったいないので、何か良い会社をもってきたいと思っているのですが、ちょっと高低差もあり、狙ってる企業がなかなか上手くいかないということです。

- ◎ 栃津天林線ですが、昨年暮れに建設課から来ていただいて住民ともども危険箇所を見て説明させてもらった。その時に今年度から一部ずつ、改修・補修をすると聞いたが、何の返事もない。

【尾近建設課長補佐】

町道栃津天林線の舗装の傷んだところや、路肩の石積みが傷んだところを見せていただいております。29年度に補修の予算が付いております。今年度は、去年立会いしていただいた中の箇所から、緊急性のあるところ、一番傷んだところから中心にやっていきたいと思っております。路肩のちょっと下がった所を最初にやっていきたいと思うので、今最終精査している所でございます。あと、路肩のほうは直ったあと、舗装補修の方も引き続き手がけていきたいと思っております。

◎吉原用水は、千垣集落と横江、天林、この3部落で維持管理をしている。昔千垣には5~600の軒数があったが、現在140ほどになっている。私どもの地区も、45軒ぐらいあったのが、今28~9軒に落ち込んでいます。維持管理が厳しいところです。天林さんに至っては9軒しかない集落ですけど、去年災害が2つありました。その中の1つが190万位、もう1つが170万位、町の協力その他を得ましたが、3集落で、少ない件数で維持してくのは大変です。では農業はどうかというと、千垣は一切していません。横江は1人います。天林さんが今5ヘクタールくらいやっている状況です。吉原用水の水がストップすると、天林に至ってはまるっきり水がいかない地区です。

これから維持管理をどうしていくか。今までどおり私どもが守っていくしかないとは思いますが、限界に来ております。町のほうでも理解していただいて、何か対策を今のうちにでも考えていただければというふうに思います。

【舟橋農林課長】

吉原用水、私も全部ではありませんが歩いてみてきております。相当古い時代に造られた用水だと思っております。これを全部改修するということになるとなかなか難しい問題があると思っております。今後については一度関係集落が集まって、協議をさせていただきたいと思っております。

【町長】

農林課長が入って、3集落の代表者寄って、1回話し合いをもちませんか。国の事業で用水直すとしても、地元負担金掛かるということで最初言いましたけれど、多面的機能支払交付金という制度があって、地元からは集めずに、このお金を貯めといて

地元負担分に充てているところが結構おられます。ちなみに、毎年町でそのお金1億円あまり用意して各集落に使っています。そのお金が入るものですから、年寄りの人きつかったら、時給1,000円で人を雇ってもいい。江浚いも銭もらってやる時代になってきて、そういうお金で国からも応援してもらっていますけれども、町だけでも3,700万円毎年つぎこんでやっていますので、是非、そういうテクニックの相談していただけたらと思います。ここは農業振興地域にした方が良く思うのです。思い切って30アールにしないと担い手は無理です。大型機械も入らんし。その代わりデメリットがありまして、いったん三反田のきれいな田んぼ、用水、もしくは国の金を入れて用水でも直してしまったら、何年かは触れなくなります。つまり、宅地転用出来なくなります。だから一人の農家に良い田んぼ用意してあげれば、一人でも20ヘクタールやれる農家もおられるし法人かも出来るかもしれませんし、場合によっては農業振興地域に指定すれば、用水を直したい時にも、農道舗装したいときにも国とか県が応援してくれるので、それだったら町も乗っかれるものですから、是非農業振興地域に組み入れるっていうことの決断をしませんか。落ち着いたらまた、農林課の職員を向かわせますのでよろしくお願いいたします

- ◎ 町ではハザードマップも整備され、避難所も指定され、防災訓練も毎年されてます。各地区に自主防災組織がありますし、防災士もいますので、防災に対する啓発をぜひ強化していただきたい。災害というのは全国どこでも起こりますし、また、気象災害につきましては皆さん実感としてわかるように、激しくなっております。被害を防ぐためには、やはり未然に情報をキャッチし備えていくしかないと思っています。

【山元総務課長】

災害に対する日ごろの備えとして、まず情報の伝達というのが一番と思っています。警報が出ましたら、総務課、建設課の担当職員が役場で待機しております。災害のおそれがある情報を気象台から受け、避難が必要になりましたら、すぐ住民の方に連絡する体制はとっております。大きな災害ですと、最初の段階では自主防災組織が一番大事で、町ですべてやるということは不可能だと思います。自主防災組織の方々あるいは集落の方々の防災意識の高揚なり、いざというときどうすれば良いか等の啓発については、ほかの集落からも要望がありまして、訓練の際に町の防災士の方にお願ひして行っていただいたり、あるいは訓練指導のため消防署の職員が行ったりもしております。

今年、県の総合防災訓練がありまして、富山市と立山町が担当地区になっており、立山町では立山地区の方で防災訓練をやりたいと考えております。具体的には立山小学校が中心になりますが、千垣集落の方には災害時を想定して避難場所である立山小学校へバスで避難するというような訓練も考えております。そのほかいろいろな関係機関が参加されますので、9月30日土曜日午前中、ぜひ参加をお願いしたいと思います。

◎雄山神社から旧立山道沿いの岩嶽寺地区の墓地の中に、石造物が散乱しているわけですが、見ますとかなり崩壊の危機に面している。欠けた石造物もあれば、傾いて倒壊寸前の石造物もごぞいます。歴史的な石造物というのは我々が次の世代に誇りを持って残していかなければいけないと感じておりますので、早急に他に移設をすることも含めて、ぜひ調査をしていただきたい。

二点目は、栃津地内にあります親鸞聖人の分骨が納骨されている六角堂です。今年職芸学院による調査、そしてまたどのように修復していくかということの検討をやるということをして昨日の新聞記事で見ました。しかしながら、現状を見る限りにおいては必ずしも進んでいません。六角堂は、200年以上経っている建造物であり、栃津の皆さんの熱意とご協力によって、台座をコンクリートで固めるとか、屋根を鋼板で葺き替えるとか、なしうる限りの手当をされております。しかし本来は200年前にコンクリートや鋼板があるわけではありませんので、歴史に見合った形で残していくことを是非お願いしたい。

【大岩教育長】

歴史的建造物等の保存、後世に伝えていくのは大変重要な視点だと思っております。町では文化財保護審議委員会というのを設けており、毎年数回会合を開いております。委員の皆さんは、10名ぐらいいらっしゃいますが、大変素晴らしい委員の方たちが集まっております。親鸞聖人ゆかりの地六角堂でございますが、職芸学院の先生の話ありましたが、上野先生という大変有名な方が、わが町の文化財保護審議委員になっておられます。

墓地の中にあります歴史的な石造物の保存をしっかりとやってほしいということで、これは今ほど申しました文化財保護審議委員会でも2年ほど前から安田先生が、いろんな資料を出してきてくださって周知をしております。いろんな石造物が沢山ある、そして歴史的な流れというものも安田先生の方の資料、講義を元にして勉強会もしております。このことの重要性は、委員も十分わかっておりますので、この後、保存・継承に努めてまいりたいと思っております。

親鸞聖人ゆかりの六角堂につきましては2年前から2回訪れております。本当に親鸞聖人のゆかりの地であると、あるいは納骨されているところだということがこの後どうやって証明していけば良いのかという大きな問題があります。文化財になるのではないかという期待も持っています。町でも大きな関心を持って進めていこうと考えております。

◎生活用水の話もありましたが、下水道の普及率が厳しいという話を聞いております。宮路、岩嶽寺の方で下水道をやったが、普及率はどれほどなのか、岩嶽地区の下水道がいったいつ出来るのか。あまりにも遅い。下水道が管理されるのが当たり前の世の中に、いつ下水道が通るのかはっきりと答えをいただきたい。

### 【山本水道課長】

接続率については今手元に資料がございませんので中新川広域行政事務組合に照会しまして、後ほどご報告をさせていただきたい。先程下田地内で 250mの工事を行っていると言いましたが、実は、立山地区ではこの下田地内だけの 250mの工事になります。並行して下段地区では、下段と向新庄と金剛寺、釜ヶ淵地区では野村と沢中山の方で同時に工事を行っております。大体年間、立山町管内での特環、特定環境保全公共下水道事業につきましては、約 4 億円程度の工事費があります。その中で、各地区の普及を図っていますが、下田集落につきましては、先程言いましたように今年度で終了いたします。

下水道の進捗状況のご質問ですが、岩嶺野は工事の進捗状況にもよりますが、平成 33 年、34 年度で終了予定と聞いております。ただ、立山地区全体では、あと吉峰、栃津、横江野開、それと東中新、横江が残っていますが、まだ整備工事の時期が見込めない状況であります。

◎ 今ほど聞きましたら横江野開はいつになるかわからないということ。工場団地とか何故来ないんだといっても、下水道が無いと来れない。いろんな企業とか来ても用水に汚水流すとなると、地区としては受け入れるわけにいかない。例えば県道沿いに下水を伸ばすとかしていただければ、工場でなくても企業が来ると思います。おいしい米を食べてほしいなら、考えてもらわないと困ります。

### 【町長】

先般環境省の室長・課長クラスの人に立山町に来ていただいて、現地調査をしていただきました。例えばグリーンパーク吉峰は合併浄化槽になっています。キャンプ場もあるしグリーンパルもあるし、それから温泉施設もあるから合併浄化槽が、でっかいのが 3 つぐらいあるのです。古くなってくると電気代も掛かりますけれども、性能が悪くなったときに変な水流すわけにもいきませんから、新しい合併浄化槽を入れる相談をするために来てもらいました。吉峰の団地は新しい家ばかりで、合併浄化槽を入れている家が多いことに気がつきました。以前神奈川県に住んでおりましたけれども、東京神奈川でも合併浄化槽が多いです。立山町のようにこれだけ家と家が離れているのに何故下水道なのかと逆に質問されたくらいです。下段地域で 2 億円超の工事が発注されて受益者は 23 軒しかない。1 軒あたり 1,000 万円という世界です。千垣芦嶺寺の方では農業集落排水事業といって農林省の補助事業で 10 何億かけて、でも接続率が大変悪くて、本当に維持費も出ないっていうような状況になっています。勿論、千垣芦嶺寺だけじゃなくて、新瀬戸それから日中、四谷尾、白岩もそういう状況になってきています。こんな状況では田んぼやれないわけだから、例えば、今国が進めてる合併浄化槽は下水道並みの処理能力ですから、それをいれてもらえる制度を考えたらどうかとアドバイスもいただいたので、真剣に研究しようと思っています。

### 3. 閉会の挨拶